

# 1 学年 音楽 ガイダンス・シラバス

担当 甲田 名奈

## 1. 3年間のねらい

表現（歌唱）及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

## 2. 学習目標

表現（歌唱と器楽）と鑑賞の能力を育てる。表現では音楽への興味と関心を養い、音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。

鑑賞では、音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

## 3. 持ち物

①教科書（中学生の音楽1）②音楽のキャンパスワーク ③コーラスフェスティバル ④筆記用具

## 4. 年間学習計画

学期	学習内容・項目	学習のポイントと目標	評価の観点
1	1. 歌唱 「校歌」「浜辺の歌」「君をのせて」 2部合唱曲 「マイバラード」「コスモス」「あすという日が」他 音楽祭課題曲「 」自由曲「 」  2. 鑑賞 「ジョーズのテーマ」「魔王」（シューベルト）  3. 楽典「音楽記号・用語」	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな声と正しい姿勢で堂々と歌い、美しい響きを作ることを身に付ける。</li> <li>ハ長調の階名になれる。</li> <li>曲に合わせた発声や、言葉を理解して歌う。</li> <li>詩の内容を大切にしながら歌唱する。</li> <li>映画音楽の鑑賞を楽しむ。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>シューベルト、ゲーテについて学習する。</li> <li>詩の内容を理解しながら鑑賞する。</li> <li>曲の表情や速さ、強弱などを表す記号、標語について学び、より深く曲を理解するための手立てとする。</li> </ul>	<b>【評価の観点】</b> ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に取り組む態度  <b>【評価の方法】</b> 1. 期末考査 楽典の生まれた背景や詩の内容、作詞、作曲者、楽典についてなどの知識・理解を問う問題を出題する。 2. 実技テスト 発声を意識し、豊かな声の響き、表現の創意工夫等を評価する。 3. 授業の取組 集団行動に参加し、自己の表現ができているか等を評価する。
2	1. 歌唱 「赤とんぼ」音楽祭課題曲・自由曲「 」 「 」  2. 鑑賞 「春」（ヴィヴァルディ） 「アジアの諸民族の音楽」	<ul style="list-style-type: none"> <li>合唱を通して、ハーモニーの美しさを感じながら歌う。</li> <li>ヴィヴァルディについて学習する。</li> <li>使用楽器の特徴や曲構成を理解し、鑑賞する。</li> <li>アジア諸国の様々な楽器の音色を鑑賞する。</li> </ul>	<b>【評価の観点】</b> 1 学期と同様  <b>【評価の方法】</b> 1 学期と同様
	1. 歌唱	・合唱を通して、ハーモニーの美しさを感じ取	<b>【評価の観点】</b>

3	卒業式合唱曲「 2. 器楽 箏「さくらさくら」 3. 鑑賞 雅楽「平調越天楽」	りながら歌う。  ・箏に触れ、親しみやすくやさしいメロディーを一緒に演奏する。  ・尺八や箏、三味線、日本の民謡を通して我が国の伝統音楽を理解する。	1学期と同様 <b>【評価の方法】</b> 1学期と同様
---	---	--	------------------------------------

## 5. 学習の評価と方法

〈知識・技能〉〈思考・判断・表現〉〈主体的に学習に取り組む態度〉

評価の観点	評価の方法
I 知識・技能	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている <b>【定期テスト】【実技テスト】【演奏発表】【提出物】</b>
II 思考・判断・表現	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴いている <b>【定期テスト】【実技テスト】【鑑賞の場合は批評文】</b>
III 主体的に取り組む態度	音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている <b>【実技テスト】【定期テスト】【授業の取組の様子】【ワークの記述】</b>

## 6. 先生から

音楽を通して、人と触れ合い、視野を広げ、心を重んじ、仲間と音楽を共有する楽しさを感じてもらえると嬉しいです。

## 2 学年 音楽 ガイダンス・シラバス

担当 甲田 名奈

### 1. 3年間のねらい

表現や鑑賞の幅広い活動を通して音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め豊かな情操を養う。

### 2. 学習目標

表現と鑑賞の能力を育てる。表現では音楽への興味と関心を養い、音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫する能力を養う。鑑賞では多様な音楽に対する理解を深め、音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を養う。

### 3. 持ち物

以下の4点を持参してください。

①教科書 ②音楽のキャンパス ③コーラスフェスティバル ④筆記用具

### 4. 学習の評価と方法

〈知識・技能〉〈思考・判断・表現〉〈主体的に学習に取り組む態度〉

評価の観点	評価の方法
I 知識・技能	(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(イ) 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている【定期テスト】【実技テスト】【提出物】
II 思考・判断・表現	(ア) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴いている【定期テスト】【実技テスト】【提出物】
III 主体的に取り組む態度	(ア) 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている【実技テスト】【定期テスト】【授業の取組】

### 5. 先生からのアドバイス

音楽を通して、人と触れ合い、視野を広げ、心を重んじ、仲間と音楽を共有する楽しさを感じてもらえると嬉しいです。

6.年間学習計画

学期	単元名と内容	学習のポイントと目標	評価の観点
1	<p>1. 歌唱 【曲想を生かして、表現を工夫しよう】 【混声3部合唱】音楽祭に向けて 課題曲「 」自由曲 「 」</p> <p>2. 鑑賞 【カンツォーネのよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう】 ①「サンタルチア」 【曲の構成を理解して、曲想を味わおう】 ①「小フーガ ト短調」(バッハ)</p> <p>3. 楽典 「拍子や曲の形式の理解」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい声で、正しい姿勢で堂々と歌い、美しい響きを作ることを身に付ける。</li> <li>・中田喜直の生涯や作風を理解する。</li> <li>・詩の内容や言葉と旋律を理解して歌唱する。</li> <li>・音楽を形づくっている要素や構造と曲想の関わりを感じ取って聴き、変化を聞き取る力を育てる。</li> <li>音楽祭を通して、表現力や合唱を愛好する心情、仲間と協力して合唱をつくりあげる力を育てる。</li> <li>・それぞれの国の民謡の特徴を理解して聴き、音楽のよさや美しさを味わえるようにする。</li> <li>パイプオルガンの多彩な音色と豊かな響きを多声音楽の特徴とかかわらせながら楽曲全体を味わって鑑賞する能力を育てる。</li> <li>・バッハやバロック時代について学習する。</li> <li>・単純拍子と複合拍子、1～3部形式を理解する。</li> </ul>	<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能</li> <li>・思考・判断・表現</li> <li>・主体的に取り組む態度</li> </ul> <p>【評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 期末考査 楽典の生まれた背景や詩の内容、作詞、作曲者、楽典についてなどの知識・理解を問う問題を出題する。</li> <li>2. 実技テスト 大きな声で堂々と歌えているか等を評価する。</li> <li>3. 授業の取組 集団行動に参加し、自己の表現ができてきているか等を評価する。</li> </ol>
2	<p>1. 歌唱 【詩と音楽とのかかわりを理解して、表現を工夫しよう】 ①「荒城の月」(滝廉太郎) 【混声3部合唱】 ～音楽祭に向けて～ 課題曲・自由曲 【曲の構成を理解して、曲想を味わおう】</p> <p>2. 鑑賞 「交響曲第5番」ベートーヴェン</p> <p>3. 楽典 音程について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲にふさわしい表現を考え歌唱する活動を通して、情景、旋律、リズムが生み出す雰囲気を感じ、表現する技能を育てる。</li> <li>・音楽祭を通して、表現力や合唱を愛好する心情、仲間と協力して合唱をつくりあげる力を育てる。</li> <li>音楽を形づくっているリズム、旋律、形式、構成や構造と曲想との関わりに関心を持ち、聴く活動に主体的に取り組む。</li> <li>・それぞれの国の民謡の特徴を理解して聴き、音楽のよさや美しさを味わえるようにする。</li> <li>・ベートーヴェン、古典派時代について学習する。</li> <li>・オーケストラの編成や、使用楽器について学習する。</li> <li>・長調と短調の持つ意味について学習する。</li> </ul>	<p>【評価の観点】</p> <p>1 学期と同様</p> <p>【評価方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 期末考査 1 学期と同様</li> <li>2. 鑑賞ノート 1 学期と同様</li> <li>3. 授業の取組 1 学期と同様</li> </ol>

<p>3</p>	<p>1 合唱【混声3部合唱】        全校合唱曲        卒業式歌        2. 鑑賞        【オペラの特徴を理解して、その魅力を味わおう】        ①「アイーダ」【歌舞伎の特徴を理解して、その魅力を味わおう】        ②「勸進帳」        3. 楽典        「日本の音階」</p>	<p>・合唱を通して、表現力や合唱を愛好する心情、仲間と協力して合唱をつくりあげる力を育てる。        ・オペラに親しみ、音色、速度、旋律、強弱などが生み出す音楽の特徴を物語の展開と関連付けて理解し、総合的な芸術としての歌劇のよさや美しさを味わって聴く能力を育てる。        ・日本の伝統芸能である歌舞伎に興味・関心をもち、歌舞伎の独特な表現の美しさを味わわせ、我が国の音楽に親しむ心情を育ませる。        ・日本の様々な音階について学習する。</p>	<p>【評価の観点】        1 学期と同様        【評価方法】        1. 期末考査        1 学期と同様        2. 鑑賞ノート        1 学期と同様        3. 授業の取組        1 学期と同様</p>
----------	--	---	---

# 3 学年 音楽 ガイダンス・シラバス

担当 甲田 名奈

## 1.音楽を学ぶねらい

表現や鑑賞の幅広い活動を通して音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め豊かな情操を養う。

## 2.学習目標

- ① 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。
- ② 音楽表現を工夫することや、音楽のよさや美しさを聴くことができるようにする。
- ③ 鑑賞により音楽のよさや美しさを味わい、豊かな情操を培う。

## 3.持ち物、忘れものについて

以下の5点を持参してください。

- ①教科書 ②音楽のキャンパスワーク ③コーラスフェスティバル ④ファイル ④筆記用具

## 4.学習の評価と方法

評価の観点	評価の方法
I 知識・技能	(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(イ) 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている【定期テスト】【実技テスト】【提出物】
II 思考・判断・表現	(ア) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴いている【定期テスト】【実技テスト】【提出物】
III 主体的に取り組む態度	(ア) 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている【実技テスト】【定期テスト】

## 5.先生からのアドバイス

音楽を通して、人と触れ合い、視野を広げ、心を重んじ、仲間と音楽を共有する楽しさを感じてもらえると嬉しいです。

## 6.年間学習計画

学期	月	時数	単元名と内容	単元のねらい	評価方法
1	4	3	【日本の歌のよさや 美しさを味わい、 表現を工夫しよう】 ①「花」	日本歌曲に対して興味・関心を持ち、日本語の持つ美しさを味わいながら表現の工夫をする能力を育てる。	○授業中の取り組み ・課題への取り組み ・提出物（プリント等） ・定期テスト ・実技テスト ・自己評価
		3	【音楽の特徴や背景を 理解して、 その魅力を味わおう】 ①「ブルタバ」	楽器の音色、旋律、強弱のそれぞれの特徴、各要素同士の関連によって生み出される曲想の変化を理解して聴き、そのよさや美しさを伝える能力を育てる。	
	5	7	【混声3部合唱】 課題曲「春に」	音楽祭を通して、表現力や合唱を愛好する心情、仲間と協力して合唱をつくりあげる力を育てる。	
		5	【混声3部合唱】 全校合唱曲	合唱を通して、表現力や合唱を愛好する心情、仲間と協力して合唱をつくりあげる力を育てる。	
	8	【混声3部合唱】 ～音楽祭に向けて～ 課題曲・自由曲	音楽祭を通して、表現力や合唱を愛好する心情、仲間と協力して合唱をつくりあげる力を育てる。		
	2	9 10	2	【耳でたどる音楽史】	
4			【混声3部合唱】 全校合唱曲 卒業式歌	合唱を通して、表現力や合唱を愛好する心情、仲間と協力して合唱をつくりあげる力を育てる。	
11 12		【雅楽の特徴を 理解して、 その魅力を味わおう】 【箏で二重奏を演奏してみよう】 ①雅楽「越天楽」 ②「さくら」二重奏	日本の伝統文化に親しみ、生涯にわたり愛好する心情を育てる。		
3	1	3	【混声3部合唱】 全校合唱曲 卒業式歌	合唱を通して、表現力や合唱を愛好する心情、仲間と協力して合唱をつくりあげる力を育てる。	○授業中の取り組み ・課題への取り組み ・提出物（プリント等） ・定期テスト ・実技テスト ・自己評価
	2 3	9	【混声3部合唱】 全校合唱曲 卒業式歌	合唱を通して、表現力や合唱を愛好する心情、仲間と協力して合唱をつくりあげる力を育てる。	